

モザンビーク・サイクロン緊急支援に ぜひご協力ください

緊急「後」の生活再建を支える、農民たちの声に基づいた支援を



サイクロン後の様子。まだ水が残る中家財道具などを運ぶ人々

「南半球で史上最悪」のサイクロン被害

3月中旬に南部アフリカをサイクロンが直撃し甚大な被害が出ています。約200万人の被災者の9割がモザンビークの住民とされています。

生産の再開が喫緊の課題

収穫期直前でのサイクロン襲来は、農業国であるモザンビークの人々に大きな被害をもたらしました。作物が表土ごと根こそぎ流される、農具や種など必要なものも失ってしまうなど、生計手段へのダメージが非常に大きく、中長期にわたる食料・栄養不足が懸念されています。人々が生活を再建するため、JVCは「種子と農具」を支援します。

現地の人々の思いに寄り添う支援を

これまでにJVCは、モザンビークで計画されている日本政府主導の大規模農業開発に対して、現地の人々が「支援と言うならば、まず何が必要かを私たちに聞いてほしい」と訴えかけるのをサポートしてきました。

彼らは自分たちの食文化、そしてそれを生み出してきた食べ物の「種」をととても大事にしています。しかし、こういった緊急事態の際には、支援にまぎれ込む物資により、現地の食と農に悪影響が及ぶ恐れがあります。たとえば生活になじまない食料が大量に持ち込まれたり、彼らが本来守りたかった種子とは異なる、次の世代の種を残さないために毎年購入する必要があるF1種子などが入ってくることで、緊急時は乗り切れても生活が決定的に変わってしまう可能性もあります。

現地の人々が元の暮らしを取り戻せるように、ぜひご協力ください。

「本当に深刻な状況」現地からの声



サイクロンは私たちの地域に大きな被害をもたらしました。多くの家が倒されて家の中でけがをした人も多く、中には命を落とした人もいます。また、サイクロン後の浸水被害によって事態は更に悪化し、死者の数が増えました。

そして農業も・・・ちょうどトウモロコシを干している最中でした。作付けされていた11万ヘクタール全ての農地が被害に遭い、失われました。本当に深刻な状況です。

ダメージを受けた農地たち

本来作物が豊かに実っていたはずなのに、作物は水につかり枯れ果ててしい、あったものが根こそぎ流されてしまいました。



活動内容

- (1) 対象地域とその状況：ソファラ州 Nhamatanda 郡
最も被害が深刻な地域のひとつ。農村地帯で、決壊したダムの水が流れ込んだこともあり、111,210 ヘクタールの耕地がダメージを受け、1,000 トンの種子が緊急に必要とされています。
- (2) 対象者：200 世帯 (1,000 人)
最も生活の困難を抱える 200 世帯の小規模農家を選定します。
- (3) 活動実施内容：
 - a) 支援対象者 200 世帯の選定
 - b) 耕作準備のための農具（クワ）の配布
 - c) メイズと野菜類の種子を配布：
種子は現地の諸条件に適応した在来品種（native varieties）で、生育の早い品種を選定
 - d) 畑づくりと種まきへの技術的サポート
 - e) モニタリングと報告書作成
- (4) 予定活動期間：2 ヶ月間（4 月上旬～6 月上旬）
活動期間は現地の被害状況や資金状況によって延長する可能性があります。



ご寄付の方法

■郵便局から募金する

同封の振込用紙をご使用下さい。

郵便局口座番号：00190-9-27495

加入者名：JVC 東京事務所

※通信欄に「モザンビーク緊急支援」とご記入ください。

■クレジットカードで募金する

下記 URL か JVC の HP からお手続きできます。

<https://ngo-jvc.info/credit>

※募金先指定で「モザンビーク緊急支援」をお選びください。

※ご利用可能なカードは、VISA/Master のみとなります。

※寄付金の一部を通信費やモニタリング費など支援活動に必要な諸経費に充てさせていただきます。

※今回予定している支援額を上回るご寄付をいただいた場合は、JVC がこれまで行ってきた、モザンビークの人々の暮らしを守るための活動に活用させていただきます。